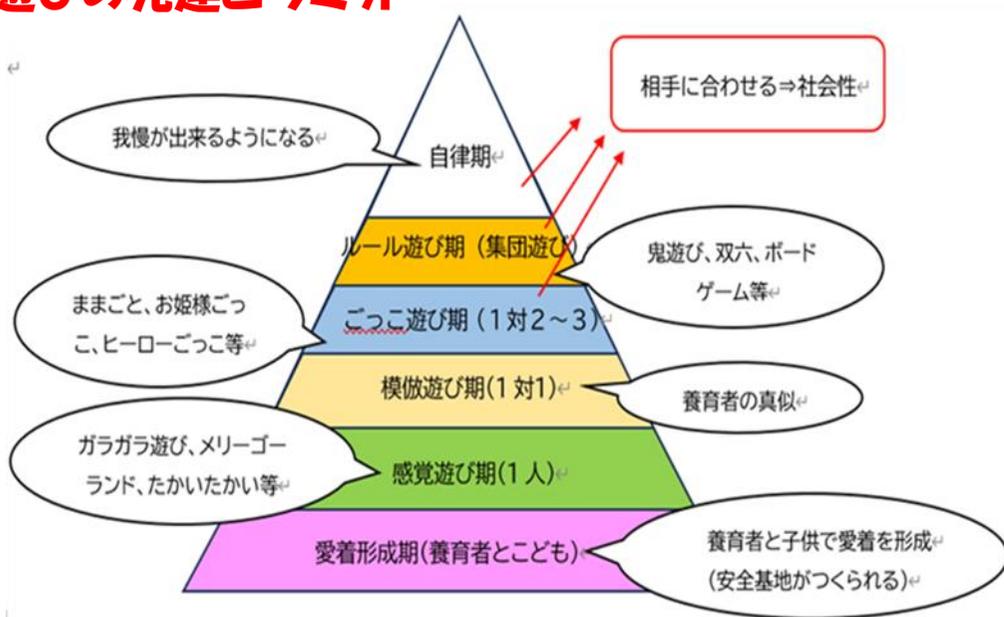


みらいの療育

～並行保育と保育所等訪問支援によるトータルサポート～

子ども支援室みらいでは、大きな集団では対応しにくいお子さまの気になる点を改善しつつ、保育園や幼稚園での園生活をさらに安心して過ごすことができるように療育支援を行います。5 領域に根差し、ABA(応用行動分析)、SST(ソーシャルスキルトレーニング)、SI(感覚統合)の視点を取り入れた小集団療育を行っています。また、遊びの発達ピラミッドに基づいた活動を提供し、“程よい挑戦”により“やったね”“できたね”という達成感や満足感を味わう経験を積み重ねられるよう支援します。

遊びの発達ピラミッド



5 領域

～みらい児童発達支援プログラム～



朝の集まり・ワン
ステップタイム

運動遊び

学習(机上課題)

設定遊び(ごっこ遊
び、ルール遊び)

運動遊び

主に前庭覚、固有受容覚、触覚を刺激する遊びを提供します。体幹や四肢近位筋の発達を促します。自分の身体がどうなっているのかを感じる力や、バランス能力、身体の使い方等の発達を促します。



朝の集まり、ワンステップタイム（小集団での模倣遊び、認知課題）



手指・身体模倣やジェスチャー遊び、フラッシュカードなどでの記憶課題、ことば遊びやひらがな・数字の理解を促す活動を提供します。

学習(机上課題)

箸や鉛筆等の操作性向上につながる手指巧緻動作課題や、文字や数字の理解を深める課題、知覚推理課題などを提供します。また、SSTカードを用いた学習や、自分の気持ちや考えを表出する練習を行います。



設定遊び(ごっこ遊び、ルール遊び)



ルールに従ったゲームや活動を通して、友だちとの関わり方や社会性を学びます。